## 2018 年 軽井沢高原文庫 夏季展オープニングイベント 軽井沢演劇部 朗読会

## 配置ミステリー側 名號值。佛丹远迎@

昭和30年代はじめ、福永武彦は中村真一郎らと共に、東宝怪獣映画『モスラ』の原作小説を書いていただけでなく、 加田伶太郎(アナグラムで 誰ダロウカの意)の名前で、ミステリーを数編執筆しています。その作品は、江戸川 乱歩をして「専門探偵作家の大多数が論理性の希薄な作品しか書けないでいるとき、文壇作家がかえって、こちこ ちの謎小説と取り組んでいるというのは、一つの皮肉であり、まことに微笑ましい光景である」と、言わしめました。 「探偵小説の味は、秀抜なトリックと明快な論理とにあり、文学の持つカタルシスとは違うカタルシスがある」 そう述べていた福永武彦が作り上げた名探偵・伊丹英典は、大学の古典文学科の助教授。どこか福永自身を思わせ るキャラクターで、独自の視点で推理を進めます。

純文学者ならではの格調のある本格的ミステリー、探偵小説好きだった福永武彦の知られざる一面を、この朗読劇 によりご紹介いたします。軽井沢演劇部として初めてのジャンルとなる探偵物、睡鳩荘の空間にぴったりな2作品 「完全犯罪」「温室事件」に、どうぞご期待ください。

## 出演

矢代朝子

## プログラム 朗読劇 福永武彦(加田伶太郎)作 Aプログラム「温室事件」 Bプログラム「完全犯罪」



1960年頃 軽井沢追分にて

7月15日(日)13時A霑以17時B霑以7月16日(祝)13時A霑以17時B霑以

定員:各回50名 自由席

料金:一般 4,000円 中学生以下 2,000円 (タリアセン入園料含みます、ドリンクサービス付)

場所:軽井沢タリアセン内 旧朝吹山荘「睡鳩荘」

予約方法 メール、FAX タイトルに「7月朗読会」とご記入頂き、 ①希望日時②人数③お名前(フリガナ)④ご住所⑤返信用メールア ドレス、FAX 番号、ご連絡先電話番号を明記の上、お送りください。 受付1週間以内に、確認メール、FAX を返信いたします。



旧朝吹山荘「睡鳩荘」

予約開始 5月1日(火) からEメールとFAX で受け付けます。

軽井沢高原文庫 Eメール kogenbunko@yahoo.co.jp F A X 0267-45-6626

軽井沢高原文庫 夏季特別展のお知らせ

②季特別展) 新しい世界文学へ 加藤周一・中村真一郎・福永武彦 マチネ・ポエティク、モスラ、… (仮)

軽井沢高原文庫 http://kogenbunko.jp

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉 202-3 Tel 0267-45-1175 💟



